



さ SA く KU ら RA



Apr.2019

発行/ボーイスカウト世田谷第5団広報部

団行事 3月10日 入団説明会 ビーバー隊

ビーバー隊隊長 草嶋隆行

団行事の入団説明会です。現在の1年生が一人しかいないので気合いも入ります。玉堤地区会館で行いましたが、育成会の2600枚のチラシの効果か例年より人手が多い気がします。

説明会終了後、河川敷に移動します。ビーバー隊は秘密基地作りです。例年は河川敷に行くと既にスカウトが飽きてることが多かったのですが、今年は着く頃にピークとなるようにお願いしておきました。その甲斐あって、まさに作成真っ只中でしたが、それはそれで参加者が混じりづらい欠点も浮かび上がりました。いっぱい入って欲しいところです！



カブ隊

副長 中村静香

平成30年度の活動も 残すところ本日を入れて2回となりました。

今年も 入団説明会を玉堤地区会館で行い、カブ隊はその間多摩川河川敷で帽子作りとゲームをやりました。帽子は、新聞紙8枚を頭に乘せて頭の形に合わせてテープで巻き、回りに残った新聞紙をくるくる巻き込んでつばを作るという物でした。スカウト全員が個性あふれる帽子を作り、入団説明会に来てくれた6名の分も作ってあげました。

ゲームは、ロープくぐりとモヤイのガンマンを2チーム対抗戦で行った結果、1組2組チームが勝利しました！

入団説明会に来てくれたお友達に もやい結びを覚えてもらったり テントを見学してもらいましたが 楽しんでもらえたでしょうか？ 昨年の見学者は 1名で入団は叶いませんでしたので 今年も 入団してくれることを期待します。



ボーイ隊 (午後 野毛区民集会所・SWTC 事前集会)

BS隊 オットセイ班

今回の活動では入団説明会ということもあって、ボーイスカウトの楽しいところ、良いところをしっかりと見てもらえたと思います。自分としても友達の弟が見学に来ていたので、きちんとした姿を見せなければと思い、テント設営やゲームなどにも、元気に爽やかに取り組みました。次年度の新しいスカウトが、僕らのことをお手本にして、楽しいスカウト活動を行える事を楽しみにして、これからの自分のスカウト活動に取り組んで行きたいです。

BS隊 カモメ班

今回の活動では、テントを張ったり、ロープワーク、国旗掲揚、貢納をしたりしました。ロープワークは、基礎の結び方を復習したので、しっかりと覚えたいです。

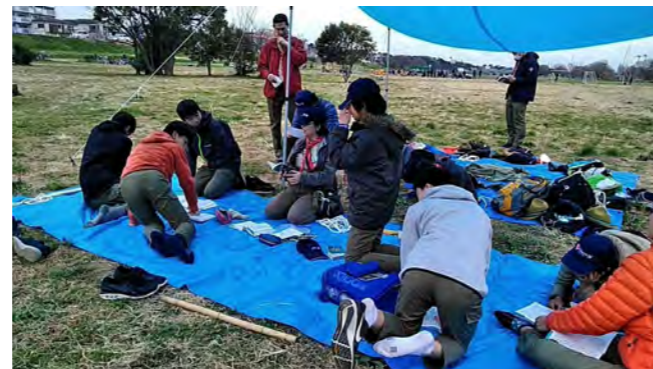
BS隊 トナカイ班

今回の活動は、いつもより多くスカウトが来ていた気がします。年々少なくなっているボーイスカウトが少しずつ増えていくことは、とても嬉しいことです。ボーイスカウトは作業が大変だったり、面倒くさいのはわかっていますが、そこを乗り越えてこそ、新しい知識を学べたり、地域の人からの感謝などにより、全てが良い方向に向きます。今回は荏原が退団することを知り、今回はほとんどを今林や荏原にやらせました。今回はとても上手くテントが張れて、昔から成長したなど実感しました。これからも楽しい日々をみんなで過ごしたかったですが、荏原くんはこれからの学校生活に活かしたり、人の役に立ってもらえたら嬉しいです。今回保科くんも最後でした。とてもサラッと最後の活動が来てしまいました。今まで元班長とは沢山の思い出があります。僕も元班長の背中を見てここまで成長できました。これからは背中を見られる立場として、頑張っていきたいです。

BS隊 トナカイ班

4月から中学生。土曜も授業があり、他の習い事も平日にあるので、ボーイスカウトの活動をやめることにしました。

僕にとって最後の活動は、テントを張ったり新しく入ってくる友達との交流でした。楽しかった。ボーイスカウトで学んだことはたくさんあるので感謝しています。やめてもわすれないと思います。ありがとうございました！



ビーバー隊

3月24日 お別れハイク

ビーバー隊隊長 草嶋隆行

今年もあっという間にお別れハイクです。今年初めて城南島海浜公園でカニ釣りしました。大井町から歩こうかと思いましたが、距離が長いので立会川までは電車で行きました。途中で見たものは解散の時にクイズにするとし、まずは駅すぐにある坂本龍馬像です。これは全員正解！何故ここにあるの？と聞かれ、焦りました。そして100m程ですが旧東海道を歩きました。さすがにこれは正解なし。そのまま大井の新幹線車両基地を上から覗き、りんかい線の車庫では乗務員が訓練していたり、更には白バイとパトカーの訓練場所があったりと、乗り物成分高めなコースです。そして、城南島海浜公園に着くと、運河の向こうは羽田空港ということで大迫力の飛行機です！

昼食後はメインイベントのカニ釣り！割り箸、タコ糸、スルメで釣ります。最初は手こずっていましたが、あっという間にどんどん釣って気づいたら1時間半ずっと釣ってました。スカウトは勿論、副長や引率協力してくれた保護者の方々も真剣に釣ってました(絵は地味ですが。)

長かったようであっという間でもあったこの一年間、この経験を活かしてカブでも頑張ってください！



カブ隊

3月24日 お別れハイク

CS隊 副長 青木由美

3月24日の活動はお別れハイク。丸子橋からスタートして終点は羽田まで約15kmを歩きました。カブ隊は多摩川を歩こう！として多摩川をハイクする企画を立ててきました。羽村堰から始まり、今年の秋には丸子橋まで歩き、残すところははいよいよ羽田まで。そこで今回のお別れハイクは多摩川を歩ききることとした企画に。少しでも楽しく歩けるようにクイズ付き。クイズはかかっている橋の数やスタートからゴールまでの歩数を当てる！といった内容にしてみました。夏季の舎営では多摩川の上流、丹波山村で行い、川遊びもしましたし、今回最後のハイクを終えてスカウトたちの心にカブ隊での多摩川が少しでも残ってくれると嬉しいです。そしておわかれハイクを終えてのスカウトたち。今年

の締めくくりを帰りの会にて行いました。一年を通してスカウトたちは組で競い合いますが、いよいよその成果、総合優勝の発表です。接戦の末、今年の優勝は3組！おめでとう！3組。そして皆勤、精勤の表彰、またこの活動をもってカブを卒業するくまスカウトからの恒例の挨拶がありました。くまスカウト達、次のステージでも頑張ってくださいね。カブ隊でのことをいい思い出にしてください。今年度はこれで終了。色々なことで忙しいスカウトたち。でもスカウト活動を通して学んだこと、感じたことを大切にしてください。そしてスカウト活動を支えてくださっている保護者の皆様、リーダーの皆様。一年間ありがとうございました。

C S 隊副長 清水恵子

3月24日は今年度最後の集会、お別れハイク。多摩川を上流から河口まで歩こうという企画の4回目で最終回でもあります。

11月にゴールとした東横線多摩川駅をスタート。またまたいいお天気で、富士山がよく見えます。多摩川を歩きはじめた頃にくらべて河川敷も川幅も広く、ゆったりと流れています。六郷水門で隊長から詳しい説明を聞き、大鳥居では今の羽田空港のなかにあったものを移転した話をしました。

その後、大鳥居と離れた場所にある穴守稲荷神社におまいりしてハイクは無事終了。京急蒲田～東急蒲田を含め(∧_∧)14.9km、スカウトは物足りないようですさえありました。

4月の進級、上進のときよりずっと脚力がつき、たのしくなりました。

そして、今日で多摩川沿いを歩きとおしました！

2016年11月20日 羽村駅～立川駅 19.0km

2017年11月26日 立川駅～矢野口駅 14.5km

2018年11月25日 矢野口駅～多摩川駅 16.9km

2019年3月24日 多摩川駅～穴守稲荷駅 14.9km

羽村から大師橋まで設定されている「たまりバー50キロ」の図をみんなで見て、3年かけてすべて歩いたのだな～としみじみ。

来年度はまた、上流からスタート！かな？

1組 DL 中澤仁

次男がカブスカウトのうさぎとして入隊した際に、当方もデンリーダーとしてスカウト運動を始めて1年が経ちました。

そして、今日はいよいよのお別れハイク。残念ながら全員参加はかなわなかったけど、天気も良く気持ち良い多摩川からのスタートが出来ました。このコースは多摩川の河口を目指す50kmの内、5団が5回に分けて取り組んできた最後のプログラム。途中何度か休憩をとりながら、川の流れるを臨みながらだんだんと鳥の種類が変わり磯の香りがしてきた時に、あゝようやく目標地点に着いたんだ∧_∧と感動しました。

(でも、子供たちに聞くと、子供達は感動というより、友達とお話しながら歩いていること自体が楽しいそうで、大人の目線とは違う感じ方をしている模様でした)

さて、縁あって始めたデンリーダーですが、実はもう1年副長としてお世話になる事になりました。今までは、デンリーダーとして、組長がやる事、次長がサポートすること、その組を中心にみてきました。

今後は、デンリーダーとしての視点とは異なる視点で、組全体を観れるようにもう1年取り組んでいきたいと思えます。

みんなが成長していくのを、今までとは違う立場ですが、同じように見守りながら、時にアドバイスをすることで、みんなの成長の手助けをしていきたいと思えました。



3組 DL 高木裕美

年度最後の「多摩川ハイク」に出かけました。晴天に恵まれ、河川敷にはハマダイコンの白い花が満開。土筆も顔を出し遠くには富士山が見え、気持ちの良いハイクになりました。

途中ゲームや隊長からのクイズ等もあり、スカウト達は飽きることなく15キロを完歩しゴールに到着。「全然疲れてない」「もっと歩けた！」と言うスカウト達を見て、1年で遅く成長したなあと感じました。終わりのセレモニーでは今年度の最優秀組賞が発表され、我が3組が2年連続最優秀組賞を受賞！誰も予想していなかった結果に最初は一同戸惑っていましたが、ジワジワと喜びを噛み締めていました。最後の「仲良しの輪」では、3組組長の秋山くんが組スカウト1人1人に感謝の言葉を伝える場面があり、感動して泣き出すスカウトも。その温かい光景に私ももらい泣き…スカウト達との活動を通じて自分自身も学ぶことがたくさんあり、とても充実した1年でした。ありがとうございました。

4組 DL 和田緑

今年度最後のお別れハイクでは、多摩川駅から羽田の大鳥居まで歩いて来ました。くまスカウトは3年間で上流から海まで全長約50kmの多摩川を制覇したことになり、ゴールではとても誇らしい顔を見せてくれました。

1年前初めてのハイクで、「疲れた～」「まだ着かないの？」と文句を言いながら歩いてたうさぎスカウトたちが、笑顔ではしゃぎながら15kmを歩く姿に成長を感じることもできました。

この1年間、家庭ではできない様々な経験を子どもたちと共有出来たことにとっても感謝しています。これからもスカウトたちの成長を楽しみに、少し遠くから見守っていきたいと思います。

1組 くま

今回は、カブスカウト最後の活動でした。最後に、うさぎらくま全員で共に多摩川を歩き切り、くまがいよいよボーイになるのだと実感しました。クイズを解いたり、参拝したりして楽しくすごせました。ぼくは、この3年間でカブスカウトのあるべき姿や団体行動などについて学び、生活に生かせるようにはげみました。

カブスカウトでの知識をボーイでも生かしたいです。1組の組長として、この1年間入ってきたばかりのうさぎと少しなれたしかが大きなケガがなかったので、まとめきる事ができたと思います。

2組 くま

僕は、三年間みんなと活動できて良かったし、お別れハイクでは羽田まで歩くことができました。このような貴重な体験ができたのはカブ隊に入った事だと思うので、カブ隊の皆さんに感謝してボーイ隊に行っても頑張っていきたいです。

3組 くま

僕は今回カブとして最後なのに足を痛めてしまったのですが、でも嬉しかったことがありました。最優秀組賞です。3組はゲームでとても負けていて2組が優勝とおもったのですが、優勝しました。とても大変だった3年間ですが続けてよかったと思えました。隊長、副長、DL、そして3組のみんな有難うございました！！



ボーイ隊

3月23～24日 シルバーウルフ訓練キャンプ@ひよどり山キャンプ場

BS隊 オットセイ班

僕は今回のシルバーウルフトレーニングキャンプでシェパード班の班長をやりました。何故班長をやろうと思ったかというボーイスカウトの班長の大変さを身をもって知っておこうと思ったからです。キャンプ当日は誰に何をどう指示すればいいのかわからず上班に手伝ってはもらうことが多くなってしまい、自分ですぐに動いてしまって班員のなかでやるのことが無い人が出てしまいました。今回のキャンプを踏まえて僕がオットセイの班長になったら班のなかで暇な人ややることなく困る人が出ないようにしたいと思っています。



BS隊 カモメ班

シルバーウルフトレーニングキャンプは魅力的なグリーンパーになるのが目的である。そこでは、「班長」、「次長」という役職はあるものの皆、将来グリーンパーになるのだから、他の人がリーダーシップを発揮して班員を引っ張ってもいいのだ。しかし、ほとんどの活動は、班長と次長が中心になって進んでしまった。その中でもかろうじて2つ3つの意見を言うことができた。チームワークにより最優秀班につなげることはできた。しかしながら、まだまだ魅力的なグリーンパーにはほど遠い。その分学ぶことがたくさんあった。例えば、班長こそ人の意見をうまく取り入れることや、班員に指示するときの決断力。また、技能が未熟だと自分のことに精一杯になってしまい、周りを見ることができなくなってしまうことなど。これらのことを、今後の活動にどう生かすかは課題であるが、魅力的なグリーンパーに近づけるように努力したい。



BS隊 カモメ班

今回は、途中からの参加になりました。そのため、テントの設営に参加しませんでした。その分は、撤営で、補えるように、積極的に参加しました。夜は、その前日とは違い、思いの外とても寒かったです。特に足が寒すぎてよく眠れませんでした。しかし、いい経験になったと思います。

BS隊 カモメ班

僕自身初めてキャンプに参加したのだが、とても楽しいキャンプだった。最初は何となくつまらなそうな印象があり、あまり行く気も起きなかったが、新しい仲間との生活やゲーム

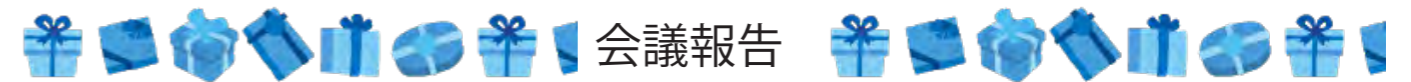


はとても楽しかった。来年も参加してみたい。

BS隊 トナカイ班

今回のシルバーウルフキャンプでは、班の皆が僕と同じ中学1年生で、指示をしてくる先輩がいない中、班の全員で協力して過ごすことができました。例えば、普段のキャンプではしないことをして、自分自身のスキルが高まったように感じたり、仲間がいることの心強さ、上の先輩がいることがどれだけ有難いということを改めて感じました。その例として、立ちかまどを作る時やテントを立てる時がありました。普段は先輩に任せたり、指示されることでやっていま

したが、今回は自分で考えて仲間と協力しながら作業しなければならず、それは簡単ではありませんでした。しかし、一緒に過ごすうちに、初対面の人ともチームワークが生まれ、無事作業を終えることができました。また、キャンプの中でいくつかセッションをしたのも、一つの隊ではできないことで、とても楽しかったです。僕がいちばん楽しかったセッションは、自分たちでゲームを考え実践する、というセッションです。残念ながら、僕たちの考案したゲームは選ばれませんでした。普段いない大勢の人たちとゲームをして心を通わせることができました。今回のキャンプを通して、自分のスカウトスキルを高めることができたよい機会となりました。



育成会役員会

- 「入団説明会」お手伝い 3月10日(日)
10:00～ 玉堤地区会館第2会議室(2F)
11:00頃～ 河川敷にて各隊の活動を見学、来場者の誘導・案内

団会議・団委員会 3月23日(土) 20:00～ 尾山台地区会館第1会議室

- ★ 各隊報告
 - C S隊: 入団申込者 6名
 - V S隊: 磯田君 「隼スカウト章」取得
- ★ 登録終了 5団スカウト登録数: 65名(スカウト数60名以上の団は表彰)
- ★ 地区総会 4月14日
- ★ 上進式: 4月7日 9:00 集合 (移転後)奥沢地区会館・大会議室
9:30 開式



- 4月7日(日) 会計監査 (移転後)奥沢地区会館・料理講習室
- 5月11日(土) 団会議・団委員会 20:00～ 尾山台地区会館第1会議室
- 5月26日(日) 総会 (移転後)奥沢地区会館・大会議室